



うちだ なめかた
内田・行方の

地域おこし協力隊が行く

Vol.11



羽幌町地域おこし協力隊の内田 一誠さん、行方 和之さんの活動をご紹介します。

内田隊員

羽幌中学校卓球部外部コーチとして本格始動!

今年1月から羽幌中学校卓球部の練習に関わり、4月からは外部コーチとして週2回、放課後の指導を担当しています。

【個々に寄り添う指導の工夫】

当面の目標は「中体連での上位入賞」です。技術を確実に向上させるため、まずは部員たちへアンケートを実施し、それぞれの悩みや「ここをアドバイスしてほしい」という要望を具体的に把握しました。その内容に基づき、一人ひとりの特性に合わせた個別指導を徹底しています。

また、視覚的な理解を深めるため、卓球専門のYouTubeチャンネルを活用し部員たちに視聴してもらっています。客観的に動きを分析し、自分のフォームと照らし合わせることで、効率的なスキルアップを目指しています。

【「気づき」を大切にする指導】

スポーツは技術を競う場であると同時に、礼儀や規律を学ぶ場でもあります。日々の部活動を通して、部員たちには卓球の技術だけではなく、多くの「気づき」も得てほしいと願っています。部員たちが心身ともに健やかに成長できるよう、これからも地域の一員として精一杯サポートを続けていきたいと思っております!



行方隊員

羽幌高校生と、天売島の森づくり活動に参加



天売島では、戦後の森林伐採によって水不足が深刻化しました。植林や地下水の開発によって一度は改善されましたが、現在は強風による倒木などが課題となっています。このままでは水源の枯渇につながる恐れがあるため、NPO法人近自然森づくり協会の岡村俊邦代表が中心となって進める「天売島応援プロジェクト」では、水源林を整備し、海鳥や豊かな海を支える自然環境と島の暮らしを未来へつなぐという取組を行っています。

この活動に、今年も羽幌高校生と参加しました。

今年は4月30日に生徒8名と一緒に参加し、北海道大学の学生から説明を受けながら、苗木の植樹や保護シートの設置作業を体験しました。また、海鳥繁殖地や赤岩展望台も見学し、天売島の自然や環境保全の大切さについて学びました。参加した生徒からは「船はとても大変だったけど、来てよかった!」といった感想も聞かれました。大学生と一緒に活動する機会は、生徒たちにとって新しい刺激となり、地域での交流や学びを深める貴重な機会となりました。今回の活動を通じて、今後は羽幌高校生と大学生が地域で一緒に学び、活動できる機会をさらに増やしていきたいと強く感じました。